

とが分つて参りました、即ち此の文字はソグヂアナ文字から摩尼教徒が作り出したものであると云ふことが明かになつて來たのであります、尤も此のソグヂアナ文字といふのもシリア文字から發したものであります、そしてウイグル文字の出來ます以前には、ウイグル民族は其の言葉を寫すには主として突厥文字を借用して居つたものであります、碑銘などにも用ゐて居ります、¹³それならば何時から此のウイグル文字を使ひ出したかと云ふと、明かに何年と定める程の史料はありませぬけれども、既に摩尼教の僧侶等が作製したものであることが認められる以上は、七百六十二三年頃以前には出來て居なかつたものであることは勿論のことであり、それより後稍々手がかりに成りますのはウイグルの或可汗の事蹟を記した碑文であります、¹⁴之は今日も外蒙古に残つて居るのであります、其の文は一方には漢字を用ゐ、一方には突厥文字を用ゐ、さうしてもう一方にはソグヂアナ文字を用ゐて居るのであります、此のソグヂアナ文字は從來ウイグル字だと云はれて居たのであります、それは誤りであつたことが知れて來たのであります、¹⁵此の碑は何時建てたものであるかと云ふと、議論が區々であります、しかし八世紀の末もしくは九世紀の初め頃のものであることは争はれない次第であります。そうすれば八世紀の末頃にはまだ此文字は出來て居なかつたものであると言つて宜からうと思ひます、若し八世紀の末にウイグル民族が自身の文字を有つて居つたならば、自分の天子の事蹟を書くのに他の民族の用ゐて居る文字を三種迄も用ゐて、然も自分の文字を用ゐないといふ理由はない、然るに之を用ゐて居ないのだから當時はまだ作られて居なかつたものだと考へるのであります、然るに先き程も申し上げました様に高昌の地には唐代の人の名がウイグル文字で書かれて居り、また唐代のものに相違ない佛典や摩尼教典にウイグル文字で書いたものが澤山存して居ることから考へますと、九世紀のう